

midnight poetry lounge vol.12

特別講演

芹沢俊介

「宿業の思想を超えて——親鸞と吉本隆明」

日時 2012年12月1日(土) 午後2時～5時

会場 ルノアールマイスペース&ビジネスブース池袋西武横店会議室

東京都豊島区南池袋 1-16-20 むかりやビル 2階

電話 03-5960-0056

会費 3000円(飲み物代含む)

予約・問い合わせ poetrylounge2010@gmail.com(中村) 070-5579-1564

1973年、『宿命と表現』で、その評論活動をスタートした芹沢俊介氏は、文学、教育、家族など幅広い分野で、独自の視点から「現在」に迫ろうとする著書を次々と世に問うてこられました。今年の春に出版された『家族という意志』、そして続いて出版された『宿業の思想を超えて——吉本隆明の親鸞』の新作二冊は、芹沢さんの気迫が伝わってくるもので、読後に深い印象を残します。吉本隆明氏が亡くなられた後に書かれたものを中心にまとめられた『宿業の思想を超えて』は、親鸞と吉本隆明の思考に迫り、「吉本隆明は現代の親鸞である。」という地平にたどりついたもので、読む者をさらなる思考へといざなう書物です。2012年の師走最初の日、芹沢俊介氏とともに、親鸞と吉本隆明の思考を通して、私たちのこれからについて考えてみたいと思います。ご来場をお待ちしております。

芹沢俊介(せりざわ しゅんすけ)

1942年、東京生まれ。1965年、上智大学経済学部卒業。文芸、教育、思想など、幅広い分野で活躍。著書に、『宿命と表現』『鮎川信夫』『家族の現象学』『主題としての吉本隆明』『「イエスの方舟」論』『引きこもるといふ情熱』『母という暴力』『ついていく父親』『「いじめ」が終わるとき』『家族という絆が断たれるとき』など多数。



主催：ミッドナイト・プレス
<http://www.midnightpress.co.jp/>

